

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立明德小学校  
(明德中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	-5.7	-2.4
令和5年度	+11.8	+16.5
令和4年度	+9.4	+3.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p><b>国語</b></p> <p>本校 62 % 全国 67.7 % 県 69 %</p> <p>話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 我が国の言語文化</p>	<p><b>重点課題</b></p> <p>◎目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することに課題がある。 (設問1-1)【話すこと・聞くこと】(平均正答率 33.3%)</p> <p>◇話し合いの場で、意図に応じて話題を決め、伝え合う内容を検討したり、意見と事実、具体例と根拠の違いを正しく理解して情報を整理したりするなど、自分の考えが伝わりやすいように表現する力に課題がある。</p>
	<p><b>改善の方策</b></p> <p>◎資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する場を設定する。その際、相手や目的を一層意識させ、どのような資料を用意するか考えさせたり、資料の順番や提示の仕方等を検討したりする時間を設ける。</p> <p>◇話し合いの際に、自分の考えが伝わるように資料の順番や提示の仕方等を検討する場や、意見と根拠など情報の関係を正しく捉えているかを整理する振り返りの場を設定する。</p>
	<p><b>検証</b></p> <p>◎校内実施の学力テスト【話すこと・聞くこと】(1~6学年12月) 目標値 70%→60.2% ◇全国学力学習状況調査【話すこと・聞くこと】(5年2月) 目標値 70%→71.4% ◇全国学力(設問1)【話すこと・聞くこと】(8学年, 2月) 目標値 70%→60%</p>
<p><b>算数</b></p> <p>本校 61 % 全国 63.4 % 県 64 %</p> <p>数と計算 図形 データの活用 変化と関係</p>	<p><b>重点課題</b></p> <p>◎球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題がある。 (設問3(3))【図形】(平均正答率 8.3%)</p> <p>◇平面図形、空間図形の性質において、筋道を立てて考え、体積の求め方を立式したり、図形の性質を証明したりすることに課題がある。</p>
	<p><b>改善の方策</b></p> <p>◎図形に関わる数学的活動を通して、円について、中心、半径、直径、球について、直径等を確実に身に付けさせるとともに、図形を構成する要素や図形どうしの関係に着目し、筋道を立てて問題を解決するように指導する。</p> <p>◇具体物やコンピュータのシミュレーションなどを通して図形のイメージをもたせ、2つの図形の関係性や図形の性質を予想し、筋道を立てて問題を解決するように指導する。</p>
	<p><b>検証</b></p> <p>◎校内実施の学力テスト【図形】(1~6学年12月) 目標値 70%→73.2% ◇全国学力学習状況調査【図形】(5学年2月) 目標値 70%→71.4% ◇全国学力学習状況調査【図形】(8学年2月) 目標値 50%→50%</p>

【来年度に向けて】

○ 今後も学力調査等をもとに児童の学習状況を把握し、個々の課題に応じた取組を行うとともに、基礎的・基本的な内容の確実な習得と子どもが進める「めいとく・トライ」を取り入れた主体的な学びを推進し、指導方法の改善に努め、課題の解決を図る。

校内実施の学力テストにおいて、算数科は課題の設定目標値を上回ることができたが、国語科は目標値を10ポイント下回った。「話すこと・聞くこと」「読むこと」において課題が見られた。「話すこと・聞くこと」の学習に目的や意図に応じて、自分の考えが伝わる表現の工夫を取り入れた学習に引き続き取り組む。また、読むことについて課題のある説明的な文章を読む指導において、中心となる語や文を見付けたり、段落相互の関係を捉えたりするなど、各学年で育成を目指す資質・能力を確実に指導する。また、読書の習慣を身に付けさせ、本に親しんだり、目的に応じて読んだりする態度を養う。